

教学半也

令和7年10月2日

No.13

全ての読者対象

第2回研究主任研修会 令和7年8月26日

全国学調は、結果ではなく出発

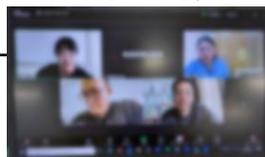
今回の研究主任研修会は、全国学力・学習状況調査の結果を各校の授業改善につなげることで、また、児童生徒質問調査・学校質問調査の結果を1学期の校内研究と関連付けて考察し、2学期以降の研究推進について構想することの2つをねらいとし、オンラインで開催しました。概要は以下の通りです。

前半：「全国学調の結果をどのように授業改善につなげるか」

- (1) S-P表の見方と活用例についての研修
- (2) CBT、IRTについての研修

後半：「児童生徒質問調査・学校質問調査の結果をどのように学校改革につなげるか」

- (3) 児童生徒質問調査・学校質問調査の見方と活用例についての研修
- (4) (1)～(3)を踏まえた研究主任同士のグループ協議



【参加者の感想】



((1)(2)に関わって) 研究主任という立場なので、調査の結果を見る機会もありましたが、他の先生方が見る機会は本当に少ないと思います。S-P表は、見方が分かれば一人一人の生徒のよさも課題も見えてきます。今回の研修を生かして全職員で全国学調を活用できるようにしていきたいと思いました。

((3)に関わって) 全国学調は、どうしても正答率に目がいってしまいがちでした。自校の研究の方向とリンクする質問項目を抽出したり、生徒質問紙と学校質問紙とを比較して分析したりするなど、学校改革への繋がりの方眼を教えていただいて、これからやってみようと思いました。



((4)に関わって) ブレイクアウトルームのセッションでは、「探究」をテーマに話し合うことができた。第1回の研究主任研修会で示していただいた「教科と総合での探究のレベル」を意識して学校全体で取り組んでいる実践をうかがうことができた。本校の課題の一つでもある、主体的に学ぶ力をはぐくんでいくためにも、「探究」について先生方と語り合っていきたいと思った。



校内研究の推進における、2学期以降の見通しや構想をもつことができた先生方の言葉が印象的です。全国学力・学習状況調査の結果には、授業改善や学校改革につながるヒントが必ずあります。

全国学力・学習状況調査をの「結果」を見るだけではなく、授業改善や学校改革の「出発」にしていきたいと思います。

【お知らせ】

第3回研究主任研修会は、以下の日程で、オンラインにて開催予定です。

《諏訪・上伊那》令和8年1月19日(月) 14:00～

《下伊那》令和8年1月13日(火) 14:00～

ぜひご参加ください！！

令和7年度 全国学力・学習状況調査 報告書

(令和7年7月31日公表) の紹介

全国学調の「報告書」には、教科に関する調査の結果だけでなく、各設問における解答類型ごとの反応率や誤答分析、そして、設問で問われた資質・能力の育成に向かうための授業アイデア例等が掲載されています。授業アイデア例には、資質・能力の育成に向けた学習場面が、具体的に示されています。また、その場面で予想される児童生徒の姿と、その姿の捉えに応じた、教師の支援についてのポイントがわかりやすく示されています。各校の児童生徒の実態に応じて、授業改善・学校改革の参考になる資料です。ぜひ下の二次元コードからご覧ください。各校における全国学調の分析と共に、「報告書」もぜひ参考にいただき、授業改善や学校改革へとつなげていきましょう。

以下、「小学校 国語」の「報告書」における、授業アイデア例の一部です。

◇ 小森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューをすることにしました。 **課題に対する一人一人の気付きや疑問を引き出す**



教師

みなさんは「働くこと」は、どんなことだと思いますか。身近な働く人では、どんな人が思い浮かびますか。そして、どんな話を聞いてみたいですか。



小森さん

「働くこと」って、どんなことだろう。私が乗るバスの運転士さんは、乗り降りする時に必ず声をかけてくれるなあ。どんなことを考えながら働いているんだろう。大変なことはないのかな。 **身近な出来事との関連付け**



Aさん

働くことは、生活するために必要なことだと思う。でも、身近な働く人って、どんな人がいるかなあ。特に知りたいこともないなあ。



Bさん

働くことは、毎日仕事をするということじゃないかな。自分の好きなことが仕事にできたら、毎日楽しいと思うな。子供の頃から今の仕事をしたいと思っていたのかなあ。 **興味や関心との関連付け**



興味があるのはプログラミングの仕事かな。その仕事をするためには、今からどんなことをしておくといいだろう。 **友達の考えから想起**



うれしいことや楽しいことはあると思うけど、仕事を続ける大変さもあると思うな。どうして今の仕事を続けているのか、普段どんなことを考えて働いているのかも聞いてみたい。

友達の話を聞きながら、「働くこと」ということについて、考えてみたいことがもてたようですね。誰にインタビューをすると、働くことについてより深く考えられそうですか。また、どんなことを聞きたいですか。



ポイント

- 課題に対して身近な出来事を想起したり、興味や関心と結び付けたりしている児童の発言や様子を取り上げ、児童の課題意識やインタビューへの必要感を高めることが効果的です。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 報告書より



令和7年度
全国学力・学習状況調査
報告書・調査結果資料

【お知らせ】 令和7年度 全国学力・学習状況調査を生かした 授業改善・充実研修Ⅱ<オンライン>

令和7年度全国学力・学習状況調査の問題の趣旨や授業改善のポイント等について理解を深め、今後の各校のPDCAサイクルの推進や授業づくりに生かすことを目的に、今年度から新たに始まった研修です。詳細は、各校にメールにて送付されている要項やチラシをご覧ください。

【開催日】：令和7年10月10日(金)、10月17日(金) ※両日とも同じ内容

【時間】：15:50~16:40



申し込みは
こちら

「地域とともにある学校」「学校とともにある地域」

地域住民・保護者・学校職員・子どもが「当事者」となって学校を良くしたい、元気な地域を創りたいという「志」を高めるための活動のあり方を考えることをねらいとし、地域連携・協働フォーラム（学社連携・協働意見交換会）を開催しました。

全体会

全体会では、キャリア教育コーディネーター・箕輪町教育委員会指導主事の安積順子さんに『この子の笑顔が地域の宝～From small A, big B will emerge～』というテーマで、体験を織り交ぜ講演をいただきました。「トークワークショップ」「ボールを使ったチームビルディング体験」でつながりづくりをしながら、安積さん自身が、さまざまな場所がかかわってきた学校と地域の連携事例を紹介していただきました。

【参加者の感想】

「伴走者」「ともぞち」たくさんのキーワードとゆるぎない安積さんのエネルギーを学ばせていただきました。ワークと説明を入り混ぜながら、参加型の学びを中心にする構成は素晴らしいかと思います。「地域人」という感覚はまだありませんが、地域人になりたいと思います。



分科会

6つの分科会では、様々な立場で地域づくり・学校づくりにかかわっている皆さんから話題提供をいただき、とても有意義な情報交換が行われました。

【参加者の感想】

分科会①【自然体験】後田高幸さん 百瀬渡さん

(国立信州高遠青少年自然の家)

ワークショップ、大人げなくムキになって楽しんでしまいました。子どもたちにも楽しみながら夢中になれるところが、応用できそうです。活動の紹介もあり、よくわかりました。

分科会②【コミュニティルーム】松澤知彦さん 辰野豊さん

(宮川小) (箕輪東小)

どのように取り組んでいけばよいかイメージを持つことができ、参考になりました。地域の方と子どもたちがより良い関係性を築ける仕組みを作ることが持続可能なものになると分かりました。

分科会③【探究】笠井成樹さん 笠井貴代さん

(一般社団法人ひつぐまる)

自身の探究についての悩みにまさに合致する研修になりました。探究は「本当に好きなものを見つけたときに、自分で考えぬくための筋トレ」は納得です。

分科会④【高校生の活躍】武井由佳さんと高校生(辰野高校)

文化祭企画をきっかけにした地域での活動は非常に感動しました。改めて高校生の力の素晴らしさに驚くばかりです。高校生の力で町を変えていくことを期待しています。

分科会⑤【地域とともに作る学びの場】菊地ユミさん

(NPO法人木の子)

自分の大切にしたいものに気づく機会となりました。地道に実践をされている菊地さんにリスペクトです。自然体でとても素敵でした。

分科会⑥【部活動地域展開】中澤隆一さん 齊藤博さん

(原村・富士見町) (駒ヶ根市)

部活の地域展開に携わる先生方の苦労と努力を知ることができ、それぞれ子供ファーストで活動していることに感動しました。



121名の皆様にご参加いただき、講演会・分科会ともに、一人一人にできることを考える機会になりました。また、子どもたちの教育に携わる関係者同士の「つながり」を意識することができ、充実した研修の場となりました。